

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスくれよん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 6月25日 ～ 令和7年 7月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年 6月23日 ～ 令和7年 7月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・インクルーシブな環境を生かし、併設保育室と交流をしている	・保育室と連携して、交流の機会をより多く設けている	・保育室との連携を引き続きしっかり行っていく
2	・個別支援計画に基づいて、一人ひとりに合わせたマンツーマンの個別支援時間と集団活動の時間を設けて、多面的な支援を行っている ・職員間の共通理解・情報共有をしっかりと行っている	・お子さんの状況に合わせた環境設定を行っている ・支援内容の固定化を防ぐため、日々工夫している	・支援開始前、終了後の打ち合わせによる職員間の連携を確実にやっていく ・引き続き、一人ひとり丁寧な支援を行っていく
3	・面談や送迎時に保護者と丁寧なコミュニケーションを取り、支援内容や様子を伝えている	・面談や日々のやり取りで保護者の意向を確認している ・個別支援の内容や様子を書面でも伝えている ・相談事など随時受け入れている	・引き続き、保護者に支援の内容や様子を伝えながら、お子さんの状態を共有していく ・話しやすい関係を保護者と作れるように心がけていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校との直接的な関わりが少ない（就学移行時の学校と通っている保育園や幼稚園との連携が充分でない）	・学校などに出向く時間的な余裕がない ・教育現場と連携が取れていない	・学校見学を積極的に行い、学校の様子を知るとともに、学校に連携を働き掛けていく
2	・情報発信が少ない	・時間がない	・今より多く、情報発信していけるようにする
3	・事業所による送迎を行っていない	・送迎にさける人員が確保できない	・送迎にかかる人員や設備が整えられるよう検討していく